

# 建築デザイン表題

正会員 ○計画太郎\*  
正会員 意匠二郎\*\*  
正会員 ※建築三郎\*\*\*

\* (株)学会設計 工学修士  
\*\* 建築大学大学院工学研究科博士課程前期  
\*\*\* 建築大学大学院工学研究科 教授・工博（※設計指導）

# Title of the Design Work

○KEIKAKU Taro\*  
ISHO Jiro\*\*  
※KENCHIKU Saburo\*\*\*

\* GAKKAI SEKKEI Co.LTD,M.Eng.  
\*\* Graduate Student, Graduate School of Eng.,Kenchiku Univ.  
\*\*\* Prof. Graduate School of Eng.,Kenchiku Univ.,Dr.Eng.(※Adviser)

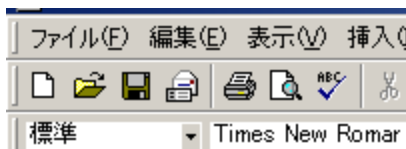
## 見出し

本文

## テンプレートの使い方

この部分から改ページの部分まで（青色の文字の部分）は本文作成時には削除してお使い下さい。

文章を書く際には、スタイルを有効利用すると楽です。Word の画面の右上は下図のようになっていますここで、標準と書いてある窓がスタイル設定の所です。▼の所を押すと登録されているスタイルの一覧が出てきますので、その中から適当なものを選ぶと、段落の設定、フォントの設定などが自動的に選択されます。



このテンプレートで登録されているスタイルには次のようなものがあります。

Equation, title, キーワード, フッター, ヘッダー, 見出し 1, 見出し 2, 見出し 3, 段落フォント, 著者, 標準, 本文, 本文字下げ

このうち、黄緑色で示されているものは題目等のためのスタイルで、既にその場所にスタイルが設定されてますので、特にその内容を知る必要はないと考えられます。よく使うのはそれ以外のスタイルで、これについて説明します。

見出し 1 : MS ゴシックと Arial. 章の見出しに使う。

見出し 2 : 設定は見出し 1 と同じ。節に使う。

見出し 3 : 文字の設定は見出し 1 と同じだが、中央揃えになっている。

標準 : スタイルのもととなっているものなのでいじらないこと。使うことはない。

本文 : 通常の文章を入力するためのスタイル。次のスタイルとの差に注意。

本文字下げ : 日本語を入力する際には、段落の最初は一文字あけて書き始めます。これをするためにスペースを入力する方法がありますが、Word ではこのときスペースの横幅を勝手に変えてしまう事があります。これでは見栄えが悪いので、常に段落の最初に 1 文字分のスペースを確保したのがこのスタイルです。このスタイルを使えば段落の最初にスペースを入力する必要はありません。前項のスタイル（本文）の違いはこの点だけです。

その他、書式→スタイルを選択し、全てのスタイルを表示させると Word で事前に登録されているスタイルを全て表示することができます。便利なものがあるかもしれません（例えば箇条書きなど）。また、各種の設定を行った後、スタイルの窓に適当な名前を入力することによって新しいスタイルを作ることできます。

## PDF ファイルの作成方法

PDF ファイルは、原則として Acrobat 6.0 以降（または同等品）を用いて作成します。作成方法についてはソフトに付属のマニュアルまたはホームページ上の執筆要項をご覧ください。

所在地：東京都港区芝 5-26-20  
主な用途：事務所  
敷地面積：300m<sup>2</sup>  
建築面積：200m<sup>2</sup>  
延床面積：200m<sup>2</sup>  
キーワード：事務所・省エネルギー・免震構造

Location : 5-26-20,Shiba,Minato-ku,Tokyo  
Main Use : Office  
Site Area : 300 m<sup>2</sup>  
Building Floor Area : 200 m<sup>2</sup>  
Total Floor Area : 500m<sup>2</sup>  
Keywords : Office, Energy Conservation, Base Isolation

Acrobat の詳細については <http://www.adobe.com/jp/> をご覧ください。

PDF を作成する際のジョブオプションは「High Quality や高品質」を推奨いたしますが、作成された PDF の容量は 3MB 以内としてください。

使用できるフォントの制限

投稿された PDF ファイルは Windows または Macintosh 上で稼働する DVD に掲載されますので、原稿内に使用するフォントは以下に限定してください。

OS	Windows	Macintosh (OS10.2 以上)
日本語フォント	MS 明朝または MS ゴシック	MS 明朝、MS ゴシック、ヒラギノ
英字フォント	Arial, Century, Helvetica, Symbol, Times, Times New Roman	

※ どうしても他のフォントを利用したい場合は、PDF 作成時にフォントの埋込みを行ってください。